



歴史の深い名取の地に
語り継がれてきた民話を中心に
年4回季節にあつた語りを
お届けします。

名取市文化会館で語る

会 場

名取市文化会館
小ホール

出 演

名取昔ばなし語りの会

ゲスト

大平 悦子(日本民話の会)

主 催：公益財団法人名取市文化振興財団
後 援：名取市／名取市教育委員会
協 力：イオンモール名取

【お問合せ】
名取市文化会館 TEL 022(384)8900
(第1・3火曜日を除く 9:00～18:00)

入場無料

※直接会場へお越しください。

日 時

第1回
夏

2021年
7月31日 土

第2回
秋

10月16日 土

第3回
冬

12月18日 土

第4回
春

2022年
3月 5日 土

13:30/開場 14:00/開演

昔
ばなし

ふるさとの

新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、イベント内容の変更や中止となる場合がございます。

名取に伝わる民話や伝説を語り継いでいこうと活動している「名取昔ばなし語りの会」の皆さんと共に、新しい事業をスタートさせます。

歴史の深い名取の地に語り継がれてきた数々の民話を題材に、年4回の計画で季節に合った語りをお届けします。

また、日本民話の会より岩手県遠野ご出身の大平悦子氏を迎え、語りの本場から「遠野物語」などを披露します。

名取市文化会館で語る ふるさとの昔ばなし

夏



7月31日(土)

若返りの水
堰の下延命地藏(増田)
キツネのはなし
蟹王山物語(愛島)

秋



10月16日(土)

植松の日切り地藏(館腰)
ほらふき竹(愛島)
ざるとすみとたまごの
言い訳
片葉のよし(館腰)

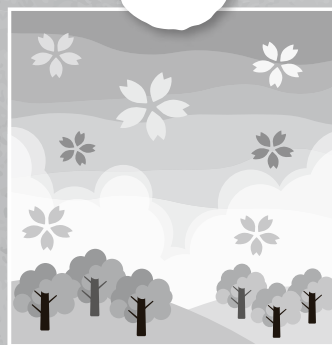
冬



12月18日(土)

安達が原の鬼ばば(福島県)
貧乏神と福の神
十三塚の笠地藏(愛島)
閑上の女五十集(閑上)

春



3月5日(土)

政治郎ときつね(岩沼市)
おもよさんの泣きごと
小僧と馬の話
名取老女(高館)

名取昔ばなし語りの会

平成15年8月に発足。

名取市文化会館、名取市図書館、市指定文化財旧中沢家住宅、市内の児童センターや小学校、エフエムなとりへの出演等、市内を中心に語りを行うほか、昔話を勉強し物語を語る活動を行っている。

「民話には喜びや悲しみや生きる知恵、工夫が織り込まれています。それらを伝えることで、子どもからお年寄りまで人生を豊かに感じていただきたいと思います、また地域に伝わる民話を語ることで、子どもたちに郷土愛を伝える手助けが出来ればと思っています。」



大平 悦子

1954年、岩手県遠野市青笹町に生まれる。高校卒業後、東京の大学に進学。卒業後、神奈川県内の公立小学校教諭。結婚後、三児を出産し子育てしながら勤務する。

2011年3月末に退職。在職中から継続している川崎市立日本民家園はだじな語りの場。遠野での見聞談・体験談の語り、遠野の昔語り、遠野の災害伝承の語り、『遠野物語』の語りなど、遠野ことばによる新しい語りは魅力的だ。現在、川崎市の自宅と遠野市のもう一つの自宅を拠点にして語りの行脚は続く。



アクセス

- 仙台空港アクセス線「杜せきのした駅」より徒歩 8 分
- JR「名取駅」より徒歩 17 分

※タクシーをご利用の場合はJR名取駅が便利です。
※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。

公益財団法人 名取市文化振興財団

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田 520

TEL 022(384)8900 FAX 022(384)6684 <http://bunka.natori.or.jp/>



「名取市文化会館」



名取市文化会館

